

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

施設の名称	山形県朝日少年自然の家	指定管理者	株式会社ヤマコー
所在地	西村山郡大江町大字左沢字楢山2523-5	県担当課 教育庁文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 (電話番号) (023-630-2831)	
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成31年3月31日		
検証期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

<p>① 管理・運営業務の履行状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県職員の方々との協力・連携を初年度以上に強化し、施設の維持管理、受入支援及び企画・自主事業の実施に取り組み、実利用者数16,929名(前年比101.9%)を確保することができました。 ・今年度新たな企画事業の模様を、メディア(テレビや新聞)で取り上げていただき、広く全県に少年自然の家をPR出来ました。 ・県及び指定管理者の運営並びに調整会議を定例化(週1回)し、スムーズな施設管理・事業運営に取り組みました。 ・利用者の安全、安心を確保するため専門業者による遊具の安全点検及び修繕、排煙窓の修繕、体育館の照明ランプ、消防設備に係る誘導灯用蓄電池及び煙感知器交換を行いました。 	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>≪評価の理由≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度2年目となり初年度の不慣れな課題も解消し、県と指定管理者が共に「利用者が笑顔になれる温かな施設づくり」を意識し、施設の維持管理、団体受入及び企画事業に係る県との調整・協力・連携によるスムーズな運営がなされている。 ・少子化の影響により小中学生の利用が減少傾向の中、実利用者数が前年度実績を上回っている。(H28:16,612人→H29:16,929人)
<p>② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画、自主事業合わせて17事業を計画しましたが、1つの企画事業並びに2つの自主事業について再考いたしました。利用者ニーズの適確な把握及び実施方法の改善に取り組んでいきます。 ・施設設備の老朽化が進んでおり、非常階段の改修、体育館の壁面、浴室天井の張替え等、利用者の安全確保に係る修繕計画を作成していく必要があります。 	<p>≪課題等の原因分析≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の再考については、本施設の認知度の低さが大きな原因と考えられる。 ・昭和49年の開所から44年が経過しており、施設・設備の老朽化が一層進んでいる。
<p>課題、問題点への今後の対応</p>	<p>・本施設の設定目的である健全な青少年の育成に重点を置きながらも、本施設は生涯学習の拠点施設であることを広く県民に周知し、事業内容等を知ってもらう必要があることから、県部門と指定管理者の連携により、学校や社会教育団体のみでなく、一般利用に繋がるプログラム開発、サービスの提供及び広報活動に努めていただきます。</p> <p>・利用者の安全確保を第一とした計画的な施設設備の改修を行う必要性を共有するため、県と指定管理者が密接に連携し、随時協議しながら適切に整備していく必要がある。</p>	

2 利用者からの要望等への対応

<p>① 意見・要望等及びその対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、食事の量やメニューに関する利用者の声が多かったことを受け、メニューを細分化(幼児～大盛)し、地元食材を使用したメニューを追加するなどの対応を行いました。 ・「開催事業の案内をもっと早く教えてほしい」「本施設のことよく知らなかった」等の利用者の声に対し、スピーディーなHP掲載に努め、また年間事業一覧を上半期と下半期に分けて保護者向けに近隣市町の全小中学生に対し配布いたしました。 ・活動地にある汲取り式野トイレについて、水洗化を望む声が続き多い状況です。 	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>≪評価の理由≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施による要望、意見の把握に努め、可能な限り迅速に、かつ丁寧な対応によるより良い施設運営、利便性の向上を図っている。 ・給食への要望に対し、食事メニュー等を見直した結果、5段階評価で最も高い「満足」が前年度より10ポイント以上増えている。(H28:59.8%→H29:72.6%)
<p>意見・要望等への今後の対応</p>	<p>・施設の理念や設置目的を踏まえながら、生涯学習の拠点施設であることを周知し、より幅広い年齢層の集客を図るため、適確な手段や時期による広報活動に期待したい。</p> <p>・屋外トイレは、平成30年度に改修工事を行う予定であるが、他の施設・設備の大規模改修等については、指定管理者や他施設と予算の調整を図りながら実現に向けた協議を進めていく。</p>	

3 指定管理者制度活用の効果

<p>① サービスの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超える参加申込みがあった企画事業について、人員を増やせず、2回に分けて実施する等の対応で受け入れました。 ・お子様から高齢者まで幅広くご利用いただける生涯学習の拠点施設を目指し、自然の家の活動紹介を盛り込んだ広告チラシを村山地域全域(一部の地域を除く)に新聞折込し、これまでご利用がなかった高齢者の団体からのご利用が、また、生涯学習講座4講座を開講。各講座月1～2回開催いたしました。 ・老朽化対策として、男子浴室のシャワーヘッド及びホース(14組)の交換、キャンプ用テント(20張)、トランシーバー(10台)の代替えを行いました。 ・男女脱衣室及び浴槽の内装工事、駐車場の白線引きを行いました。 	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>≪評価の理由≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズとマッチした企画事業の実施や利用者の参加意欲を大事にした柔軟な対応・工夫が図られている。 ・生涯学習の拠点施設として広く施設・事業をPRするために、メディアの活用やチラシの配布など強化している。 ・利便性の向上を図る(利用しやすい環境づくり)ことに対し、前向きに取り組まれている。
<p>② 経費の節減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管内教育委員会への事業等チラシ配布については直接持込とし、また所内資料の裏紙利用の徹底を図り、事務費節減に努めました。 ・利用状況に応じた人員配置により、人件費節減に努めました。 ・適宜、照明・ボイラーの入切を行い、光熱費節減に努めました。 	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>≪評価の理由≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、本社の調整による利用状況に応じた人員配置や省エネルギー化を図った経費節減に取り組まれている。
<p>③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大江町の教育委員会と連携し、企画事業「朝少フェスタ2017」、自主事業「生涯学習フェスティバル」を開催し、多数の町民に参加いただきました。また、西川町の月山湖管理組合と連携した企画事業「カヌー教室」や寒河江市の「グリバーさがえ」と連携したカヌー体験を実施いたしました。 ・山形大学地域教育文化学部、新たに地元左沢高等学校とボランティアスタッフに係る連携を強化してまいりたいと考えております。 ・朝日町から1名を新たに雇用了。 	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>≪評価の理由≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元採用のほか、地元自治体・地元団体と積極的にコミュニケーションを図った企画事業・自主事業の開催など、今後も地域の活性化に向けた取組みが期待される。

総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県部門と指定管理者とともに職員一人一人の対話重視を心掛け、官民融合の組織づくりが図られており、スムーズな施設運営・事業運営がなされている。 ・施設の設定目的である「健全な青少年の育成」に重点を置きつつも、幅広い年齢層を対象とした指定管理者のアイデアを活かした事業展開、利便性向上を図る設備改修及び要望への迅速な対応など、指定管理者制度導入の効果が表れている。
---------------	---

- 【評価指標】**
- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 - B : 概ね適正に実施されている。
 - C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 - D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。